発行者：日本共産党岡山市議団
岡山市北区大供 1-1-1
☎086-803-1707

日本共産党岡山市議団 市政ニュース

2017 7|30 No.273(通282)
日本共産党岡山市議団 検索

後楽館跡地売却 開示資料はスミ塗り

市長 今後も墨塗りを示唆

旧後楽館中高跡地の売却先として市は、山陽放送を選定しました。売却の方針決定が非常に早く、庁内での検討経過も不透明で、記録もないなど異例づくめです。決定経過について、議会が資料を求めたところ、市は黒塗りの資料を出してきました。

本会議で党議員が公開を求めると、市長は「（財務状況の）点数が悪くて今後の（企業）活動に影響が出たら だれが責任をとるのか」と声をあげました。

市長は、山陽放送の取締役として報酬をもらっています。だからこそ、透明性、公平性が確保されたのかをチェックする必要があります。しかし、市長はこれが最大限の情報公開と言い、今後も黒塗りの資料を出す可能性まで示唆しました。売却価格を2・8億円も安く決めた根拠を、市民や議会が検証できるようにすべきです。

応募者名	売買希望価格
(公財) 石川文化振興財団ほか2者	14.8億円
山陽放送(株)	12億円
浅野産業(株)	10億円

6月議会報告

市長は、10月1日投票の市長選挙に出馬する意向を表明しました。共産党市議団は、市民のくらしを守る立場から対決します。

共産党提案の不信任可決 議長は辞職を

宮武博議長は、申し合わせで２年と決めた任期が来ても辞めません。

日本共産党岡山市議団が５月臨時議会で不信任決議案、６月定例議会で議長辞職勧告決議案を提案し、いずれも賛成多数で可決されました。しかし依然として議長職に留まっています。

弁護士と無料法律相談

毎月第１～第４月曜日夕方に法律相談を行っています。

要予約
☎803-1707（市議団）

※このニュースは政務活動費で作っています。